

わたしたちが 学ぶべきは？ JR西日本歴代社長 起訴から

N 2 0

2 0 1 0 . 3 . 2 9

J R 東海 労 東 二 運 分 会

所員のみなさん そして 他所のみなさん

神戸第一検察審査会が26日、JR西日本の歴代社長3人を業務上過失致死傷害罪で起訴すべきと、「起訴議決」をしました。これは、神戸地方検察庁がJR福知山線脱線事故で歴代社長の事故責を認めず不起訴処分としたことに対して、11人の民間人で有権者の審査員が審査し決定したものです。

JR西日本は、JR福知山線脱線事故に対してホームページのトップに佐々木社長名で以下のコメント（概要）を掲載しています。

—略— 弊社は、106名のお客様の尊い命を奪い、500名を超える方々を負傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。改めましてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様には衷心よりお詫び申し上げます。

また、お怪我をされた皆様にも深くお詫び申し上げますとともに、一日も早いご快癒を祈念いたします。—略— 調査・捜査段階における弊社役員等による働きかけや資料提出不備などの行為により、被害に遭われた方々をはじめ、ご利用いただいているお客様、さらには広く社会全体に深いご不信の念を抱かせてしまいましたことについても、深くお詫び申し上げます。—略— 被害に遭われた方々はもとより、お客様や株主、社員、地域、社会など、弊社に関係する全ての方々と誠実に向き合うとともに、福知山線列車事故を決して忘れることなく、改めて弊社の経営の三本柱、すなわち「被害に遭われた方々への精一杯の対応」、「安全性の向上」、「変革の推進」を強力に推進してまいります。—略— 平成22年3月

また同じホームページに社長名で「福知山線列車事故に関わる神戸検察審査会の発表を受けて」も掲載（概要）しています。

—略— 本日、神戸検察審査会において、弊社元社長3名に対して「起訴すべき旨の議決」がなされました。弊社は、かつて弊社の経営を担ってきた者に対してこのような判断がなされたという事実を、真摯に受け止めなければならないと考えております。

弊社としては、引き続き被害に遭われた方々への精一杯の対応、安全性の向上、企業風土の変革に全力で取り組んでまいります。平成22年3月26日

JR西日本は一体、どのように「被害に遭われた方々への精一杯の対応」をし、また「安全性の向上」と「変革の推進」をしようとするのでしょうか。あえて、この2つのコメントをそのまま信用するならば、井出氏の横綱審議委員会委員の辞任（3月末で交替予定）は当然ですが、南谷、垣内両氏もJR西日本の囑託を直ちに辞退（29日現在、辞退したかは不明）し、かつ起訴された後の裁判では争わないことを表明するのが道理というものです。

この現実 私たちは何を教訓に？

組合員のみなさん ユニオン・国労組合員のみなさん

亡くなったのは106人だけではなく、運転士を含めた107人がJR西日本の安全を無視した営利優先の経営体質の犠牲になったのです。運転士は、長期日勤や制裁に耐えられなかったということが裁判やさまざまな証言から明らかにされました。

このようなJR西日本の現実を、私たちはどのように理解し教訓とすべきでしょうか。私たちもJR西日本社員と同じように、絶対にJR西日本の安全無視・営利優先の経営を認めるわけにはいきません。尊い多数の命を奪い傷つけたにも関わらず、社会から指弾されても謝罪をしないような経営者の体質は認められません。

残念ながら、JR東海にも同じような経営体質があるといわざるを得ません。最近では、車内での喫煙や矯正眼鏡不使用、架線切断事故への対応が端的に示しています。全てを、その社員の責任にし、会社としての責任は表面的に済ませるということです。

JR西日本の事故に対する無責任な体質と、JR東海の事故等に対する責任の押しつけ体質は同じに見えてなりません。私たちがこの2つの体質から学ぶべき、そして教訓とすべきはただ1つです。労働組合として、しっかりと会社に対するチェック機能を果たすことをとおして安全を確立し、組合員とその家族の生活を守り抜くことです。それが学ぶべきことであり、教訓とすべきことです。

ここに労働組合の違いなど存在しません。私たちの職場では、社員同士（これ自体も認められないが）ならまだしも、組合員同士が競争させられ、その結果として組合員間に格差が出ています。

JR東海でも一部経営者の間違った判断から会社を崩壊させかねない状況があります。リニア構想が端的な事例と言えます。失敗した時に経営者が責任を取れば済む、という簡単なことではありま

せん。私たち一人ひとりとその家族の生活の問題なのです。場合によっては、私たちと家族の生死にも関係するのです。

J R 東海の経営者は、J R 福知山線脱線事故とその後の一部経営者の対応、そして歴代社長 3 人への強制起訴をどのように受け止めているのでしょうか。同じ鉄道会社として見解を出すべきです。

組合員のみなさん ユニオン・国労組合員のみなさん
J R 西日本 3 社長の起訴を教訓にし、労働組合として物を言い、労働組合の役割を確実に果たそう